society&business Tokyo25 journal

執筆協力 編集室システムU

okamura.nobuyoshi@gmail.com

道和尚の代にはじめられた大事 指定されているが、それは3世宏

昭和大改修の成果だ。

4月以降、新型コロナウイルス禍の行動制限も緩和され、飲食店ににぎわいが戻ってきた。 ただ、夏休みを前に第7波が起きるなど、感染収束の目途が立たない。それでも2年以上に わたり影響を受ける飲食店は感染拡大の防止に心を砕きながら、前に進み出している。 者も日常の事として予防対策を守り、大人数の宴席を控えるなどして外食を楽しみだし 「以前のような形で食文化を楽しめる日が1日も早く訪れてほしい」と願うのは料理の 黒茶屋の知識尚志総料理長の思いを聞いた。(岡村信良

た。夏は特製のごまだ ぎうどんを再開しまし のお勧めは へ料理の食事ではよも 知識 6月よりコー 春の山菜、秋冬のキノコ 黒茶屋の魅力と献立

知識尚志総料理長

べてもらえない残念さがあった自信のある料理を創作しても食 と知識総料理長

食べていただきたいと

え作りました。最初は

自信作が生まれ、

ただく、

それだけを考

時にいろんな料理を考

込んで喜んで食べてい

ろいでいただく 力。9月初めま のが黒茶屋の魅 る敷地内でくつ

ます。 かき氷をお召し では好評の天然 上がりいただけ 思った矢先、断続的に

相次ぐ行動制 べていただけなかった 行動制限が掛かり、 ことが本当に残念でし た。それでもコロナ禍

われ、

京都で見かけ、

何かできないか」と言 謙二社長から「パンで 原価割れでした。高水

季節を感じる料理が黒茶屋

の魅力。訪れた人を味覚と

年人気ナン ーワンを博し

バ

せち宅配で毎

の

お

視覚で魅了する

後は。 ウト商品 含めテイクア た。おせちを

の今

でテイクアウトや、 ていただくなど新しい の商品を敷地内で食べ

した。多くの皆さんに

玉子サンドが生まれま 頭にあった、だし巻き

喜んでいただいていま

食の秋を迎える。

秋

提供の形が生まれたこ

扱いうようになり、ど んな工夫を凝らしたか。 とは良かったです。 テイクアウト商品を

プの味をお弁当に詰め 黒茶屋グルー

時間ができた

冬のキノコが黒茶屋の 時季になる。 川渓谷も紅葉の美しい 知識春の山菜、 秋

看板メニューです。 周

全てご馳走です。 総料理長は「婦人画 の素晴らしい環境も

褝

は

んに一言。

ました。 見合わせるなるのなが

黒茶屋ファンの皆さ

せください。可能な限

対応してまいります。

め

4月から現職。52歳

氏に誘われ、黒茶屋グループに

入社。長く井中居の料理長を務

あり、

知 識

クアウトは引 は数に限りが ただ、おせち ていきま き続き継続し テイ す。

即完売 ください。 ります。是非いらして これからも作ってまい 家庭では出せない味を があればお声をお寄 知 識 素 また、ご要 小朴です が

> 店に入職。そこで調理長だった した。 田中博敏氏に師事。20年前、黒茶 屋の総料理長となっていた田中

あり

■知識尚志総料理長=なだ万本 がとうございま

元気の秘訣 母国に伝わる 秘伝の薬膳レシピ 台湾の家庭料理です。 豚バラ肉をじっくり煮込んだ ク 回 肉 肉八 價 恭 飯ン **650**層 650南 042-588-4992 あきる野市伊奈486-13 営業時間:11時30分~14時 定休日:日曜日、月曜日、火曜日 HP 楊の泉 検索 k

菜の酢物、また何と言 れを用意しました。コ 美しい自然が感じられ ショウを効かせた夏野 おいしい季節ですね。 ってもアユの塩焼きが い環境も全てご馳走 したか。 思うように腕を振るえ 限で営業が制限され、 が、どんな思いで過ご なかった2年間だった 知識

義父とともに

象徴している。境内は都の史跡に っていい。なかでも山門は江戸宝 暦年間の建立とされ、寺の歴史を 寺の七堂伽藍の立派さは屈指とい 寺社の多い青梅でも曹洞宗天寧 を脱いだ。本山の役僧も務めた傑 僧で、昭和35年(1960)に他 界しているが、改修は祖父である 完成した」 武彦和尚が志を継ぎ、23年かけて

ライゼス(現セガサミーホールデ 住職。義父に当たる高木昭彦住職 大学を卒業後、セガ・エンタープ は北海道釧路市の出身。青山学院 と寺を切り盛りしている。祐昭氏 こう話すのは、同寺の沖祐昭副

> 入籍。子どもができると、孫の顔 いわれ、一旦は断りつつも何とか

和尚から

『仏門に入れ』

と

登の生まれ。幼くして永平寺で修

縁あってここ根ケ布に草鞋

「先々代の宏道和尚は石川県能

ィングス)に就職、生ま れ故郷に戻って営業に従

先代の仕事と教え 事していた。

26

らの交際を実らせようと の娘さんとの学生時代か 「そのころ、昭彦和尚 歳のときに出家を受け入れた。そ 平寺で年若い雲水に交じって修行 社を起業していた祐昭氏だった が、さすがに3度目には折れ、 当時、 友人とコンピュータの会

結婚の許しを得に寺を訪

の日々を過ごす。

沖祐昭氏



がてその背中を乗り越えるための 法事をこなしながらの研鑽は、や 父と私は師弟になる。坐禅や読経、 足元をしっか 出家すれば義 に心がけた。 行動するよう を落ち着けて り見据え、 る。修行中は う言葉が 脚下照顧と 心 あ

を見がてら説得に来る」 妻子を青梅に残し永 きた。 共感。 だった祖父の留守を預かっていた もの……」 宗門での役割もあり外出しがち 西多摩弁の

という。 昭彦和尚は地元の人を大切にして つまり滑らかなつきあいをしたい 祐昭氏もそんな義父に強く 「のめこい」、 [岡村繁雄]

どこに行っても治らなかった方へ(3密対策を徹底)

(エアドック設置) 42年の実績

042 (550) 5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療

初診料 3,000円 治療費 3,500円 (学生2,500円)



坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頚椎)、脊椎 管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、 エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポー ツ障害など

シビレで歩くことが困難な方

からです」でいるでは、体のケアをしているでは、体のケアをしているでは痛めた腰・肩の治療をでいるが、ないには場できているがある。

坐骨神経痛=お尻から足にかけて痛み、

●あきる野とうきゅう ココ (5階建ビル) 五日市街道 ●西武信金 秋川駅

あきる野市秋川1-1-13ABCビル3階

秋川駅徒歩1分